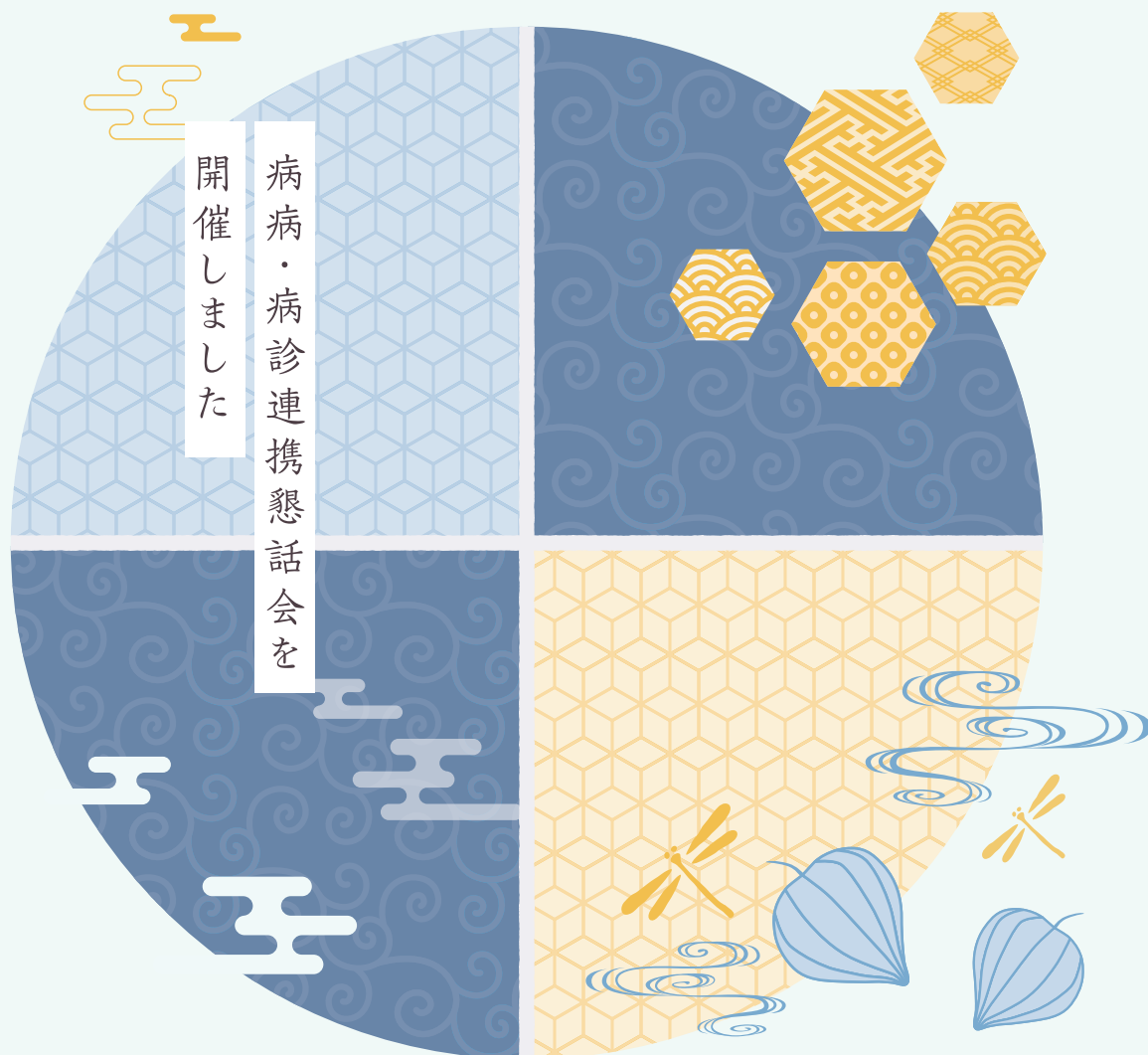


地域医療連携だより

かまんざ



- ② ③ 第36回病病・病診連携懇話会を開催しました
- ④ 新任部長就任あいさつ
第2消化器内科 部長 河村 卓二
- ⑤ 2024年度 連携医療機関へのアンケート結果
- ⑥ トピックス、お知らせ

当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ

地域医療連携係 TEL **075-212-6186**

平日 8:30～19:30
土曜日 9:00～13:00



第36回

病病・病診連携懇話会を



院長
魚嶋 伸彦による挨拶



上京東部医師会長 任 書熹 院長
任 書熹(ニンフミキ)先生によるご挨拶



副院長
永金 義成による講演

祇園祭の山鉾巡行(前祭)が行われた7月17日、ホテルオークラ京都にて第36回病病・病診連携懇話会を開催いたしました。当日はあいにくの大雨にもかかわらず、日ごろから連携いただいております病院や医院の先生方、職員の方々に多数ご参加いただき、盛会のうちに終えることができましたことを心より御礼申し上げます。

懇話会では、まず上京東部医師会長の任 書熹^{ニン フミキ}先生にご挨拶を賜りました。続いて当院の地域医療連携の現状についてご紹介した後、5名の医師が講演を行いました。

前半の2演題は地域連携における呼吸器疾患がテーマでした。超高齢社会において増加しつつある肺炎の入院治療は、地域で取り組むべき課題であり、早速いくつかの病院からパス導入への協力をお申し出いただきました。ま

た、男性・女性ともに死因の上位を占める肺癌の早期診断・治療には地域連携が不可欠であり、柳田医師からは「紹介先は、呼吸器内科でも呼吸器外科でもかまいません」というメッセージが伝えられました。

休憩をはさんだ後半では、3つの診療科から話題提供をしました。放射線治療科からは、今年8月に稼働開始する新しい放射線治療機器を用いた最先端の放射線治療についてご紹介しました。続いて、循環器領域から加齢とともに増加する心房細動に対する治療が紹介され、循環器内科からは、今年4月に導入されたパルスフィールドアブレーションを、心臓血管外科からは、新しい外科治療であるウルフォオツカ手術について、当院における41例の治療成績とともにご紹介しました。

開催しました

副院長(地域医療連携・入退院支援室長) 永金 義成



呼吸器内科部長
塩津 伸介による講演



呼吸器外科部長
柳田 正志による講演



放射線治療科部長
清水 大介による講演



循環器内科
大倉 孝史による講演



心臓血管外科部長
後藤 智行による講演



新任紹介、あいさつ

懇話会終了後は、隣の会場にて懇親会を開催いたしました。

今年は地域医療構想が大きく転換する時期であり、2040年に向けて外来・在宅、さらには介護も視野に入れたよりきめ細かい連携が求められます。今回の懇話会、懇親会には昨年を上回る174名の関係者の方々にご参加いただきましたが、直接顔を合わせて意見を交換し、お互いの理解を深めておくことが今後の地域医療連携には不可欠であることをあらためて認識いたしました。

今後とも地域の医療機関の皆さまとの連携をより一層強化し、京都第二赤十字病院が地域医療の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

懇話会 演題

- 京都第二赤十字病院 副院長 永金 義成
「当院における地域医療連携の現状について」
- 呼吸器内科部長 塩津 伸介
「肺炎地域連携パス導入への取組み」
- 呼吸器外科部長 柳田 正志
「呼吸器外科の肺癌診療～診断から治療まで～」
- 放射線治療科部長 清水 大介
「放射線治療の進歩～X線治療の底力～」
- 循環器内科 大倉 孝史
「進化した続ける心房細動治療」
- 心臓血管外科部長 後藤 智行
「ウルフオオツカ手術」



新たな一歩
不易流行の精神で挑む



第2消化器内科 部長

かわむら たくじ

河村 卓二

このたび、消化器内科部長を拝命いたしました河村卓二と申します。当院の消化器内科は内視鏡センターを中心に据えつつ、消化器内科全般にわたり質の高い診断と治療を提供できるよう、日々研さんを重ねております。

当科は1982年に中島正継初代部長が着任され新設されて以来、安田健治朗、宇野耕治と歴代部長がその伝統を築いてまいりました。今回、4代目の部長としてこの重責を担うこととなり、身の引き締まる思いです。今後も宇野耕治院長補佐とともに、二人部長体制で地域の皆さまに信頼される医療を目指してまいります。

これまで当院の消化器内科は、内視鏡的乳頭括約筋切開術の開発や、超音波内視鏡の先進施設としての情報発

専門

- 消化器内科
- 消化器内視鏡（特に大腸）

資格

- 日本消化器病学会指導医
- 日本消化器内視鏡学会指導医
- 日本大腸肛門病学会指導医
- 日本内科学会指導医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

信、近年では小さな大腸ポリープに対する非通電切除法（Cold snare polypectomy）の開発など、消化器内視鏡分野の発展に寄与してまいりました。伝統を大切にしつつ、新しい取り組みにも積極的に挑戦する「不易流行」の精神を胸に、今後も患者さんや地域の医療機関の皆さまのお力になれるよう努めてまいります。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

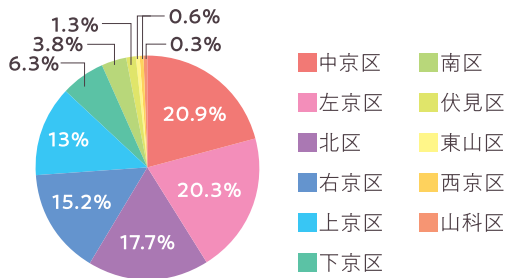
2024年度 連携医療機関へのアンケート結果

対象施設数 771

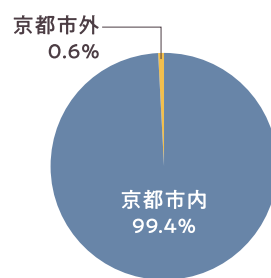
回答率 47% (前回57.0%)

全回答施設数 360

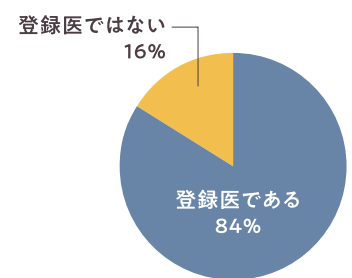
1 回答者の京都市内の内訳



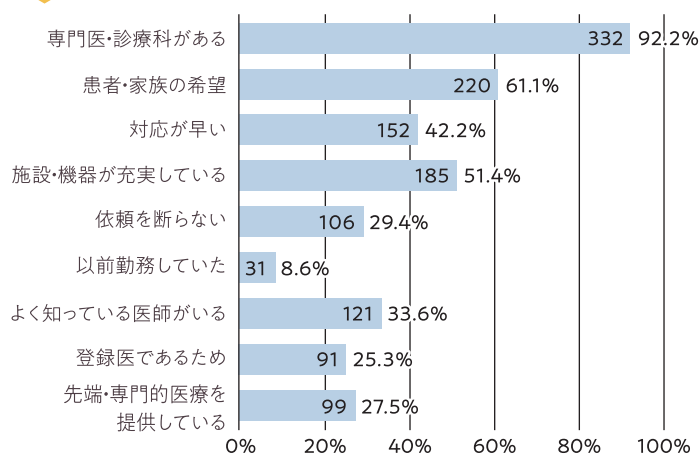
2 回答者の医療圏域



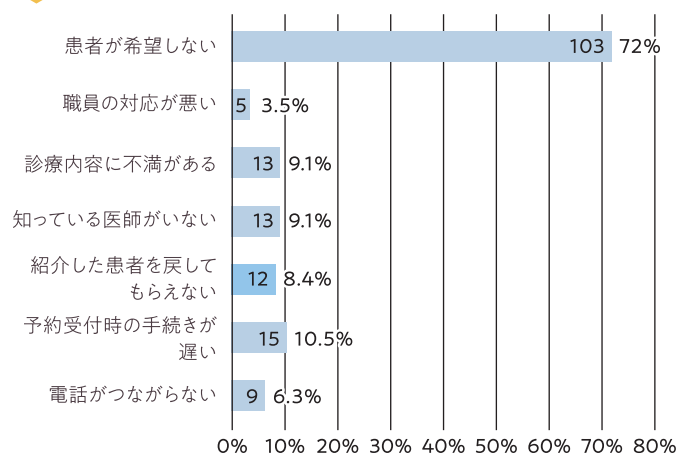
3 当院登録医加入の有無



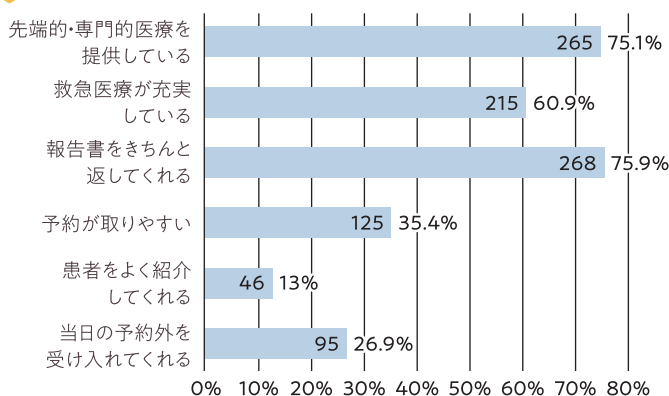
4 当院を選択した理由(複数可) 回答施設数 360



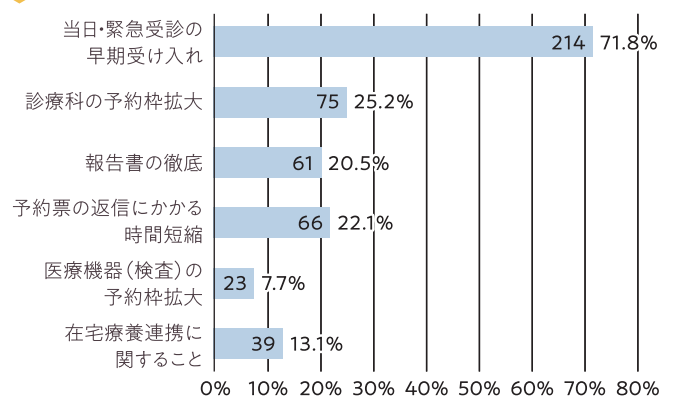
5 当院を選択しない理由(複数可) 回答施設数 143



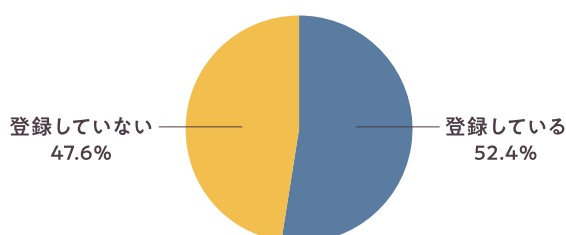
6 満足度について(複数可) 回答施設数 353



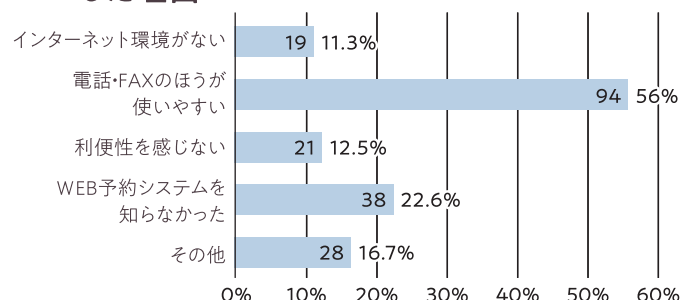
7 今後希望すること(複数可) 回答施設数 298



8 WEB予約システム 利用登録の有無 回答施設数 355



9 登録していないを選択した理由 回答施設数 168



放射線治療機器を 更新しました



放射線治療科部長
清水 大介

本年8月1日より当院の放射線治療機器が更新されました。最新機能を多数搭載し、多種がん治療に向けて再稼働します。

今回加わる大きなメリットは**治療時間の短縮**かつ**副作用の軽減**にあります。

照射口が回転しながら、照射形状をダイナミックに変化させながら照射することで、より正確に短時間での治療が

実現できます。また肺や肝臓など呼吸移動する腫瘍に対してその移動に同期させた照射を行い、正常臓器への負担を減らす同期照射機能も備えています。

新たに、転移性脳腫瘍に対するピンポイントな定位照射が当院でも本格的に可能になることも加え、緩和照射など従来からの治療も引き続き行っていくことで多数の治療依頼に対応させていただきたいと思っております。



Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.



Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.

TrueBeam 高精度放射線治療システム

お知らせ

◆ 高度救命救急センター地域連携フォーラムを開催します

日時 11月1日(土) 15:00~19:30 (懇親会あり)

場所 京都ガーデンパレス

※詳細は後日お知らせします



地域医療連携だより

かまんざ

vol.20 2025.8

+ 京都第二赤十字病院 地域医療連携・入退院支援室

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355番地の5

TEL 075-212-6186

FAX 075-212-6358

WEB <https://www.kyoto2.jrc.or.jp>